

金光教 葬儀式のしおり

金光教こんこうきょうによる葬儀式は、故人に別れを告げるだけではなく、故人の生前のお礼を申し上げ、みたまの安らぎと遺族の立ち行きを、天地金乃神様てんちかねのかみに願う祭典です。

人間にとって天と地は、生きている間も、死んだ後もわが住みかであります。故人はみたまとなって神様のもとへ帰った後も、神様のおかげを受けなければなりません。

ご会葬の皆様も故人を偲しのびつつ、神様に故人のみたまとしての助かりを、共にお祈りください。

終祭次第

- 先 祭員着席
 - 次 拝礼
 - 次 天地賛仰詞奉唱
 - 次 祭主告詞奏上
 - 次 霊璽(れいじ)奉遷
 - 次 祭主終祭詞奏上
 - 次 祭主玉串奉奠
 - 次 喪主喪婦玉串奉奠
 - 次 遺族親族玉串奉奠
 - 次 会葬者玉串奉奠
 - 次 新霊神拝詞奉唱
 - 次 拝礼
 - 次 祭員退下
- (多少変更する場合があります)

告別式次第

- 先 祭員着席
 - 次 拝礼
 - 次 天地賛仰詞奉唱
 - 次 祭主祭詞奏上
 - 次 祭主玉串奉奠
 - 次 喪主喪婦玉串奉奠
 - 次 (弔辞)
 - 次 遺族親族玉串奉奠
 - 次 会葬者玉串奉奠
 - 次 (弔電披露)
 - 次 新霊神拝詞奉唱
 - 次 拝礼
 - 次 祭員退下
- (多少変更する場合があります)



- ① さかきの柄を上から右手で持ち、下から左手を添えて、玉串案(台)の前に進み一礼
- ② さかきの柄が自分の方向にまわります。
- ③ さかきの中ほどを右手で持ちかえます。

- ④ さかきの柄が玉串案(台)に向くようにまわります。
- ⑤ 玉串案(台)の上に右手で供えます。
- ⑥ 忍手 音を立てずに四回拍手
- ⑦ 一礼をして、自席にもどります。

※拝礼は「一礼、忍手(しのびて)、一礼」です。
忍手は、音をたてずに四回拍手します。